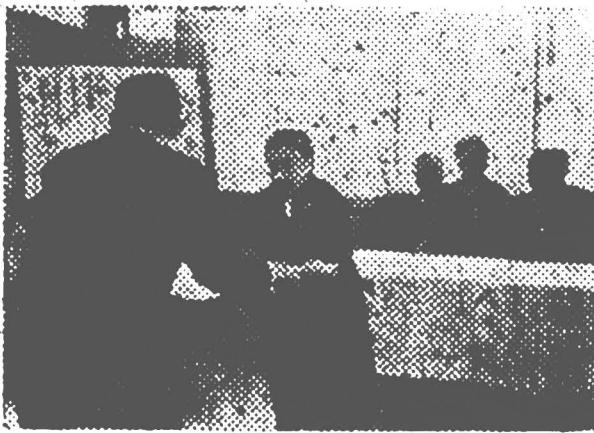


名誉市民など表彰も

【水俣】市は文化の日、名誉市民に徳富蘆花など三氏、市政功労者に淵上毛錢など四氏一団体を推薦(たり)表彰した。

名誉市民は「自然と人生」など



水俣名誉市民、功労者の表彰式

で知られる水俣市生まれの徳富健次郎(蘆花)、水俣発展の基礎を築いた昭和十一年から十一年間町長(その間、県議、衆議院議員に当選)の深水吉毅(以上故人)・二十五年から四期市長をつとめた橋本彦七(七の三氏)。

市政功労はチツソを誘致した前田永喜、詩人淵上喬(毛錢)、初代市長中西孝磨(以上故人)、水俣幼稚園園長市原キヨモセ、オリエンピック選手を育てた市力又一協会の四氏一団体。

善行賞では十月に水俣川でおぼれかかっていた小学生を着のみ着のまま飛び込んで救った水俣高校三年生藤孝可君(二〇)。

特別養護老人ホーム「紫明寮」(猪口研二理事長)で、三日までお年寄りたちの作品を一堂に並べた文化祭があった。入所者七十七人のうち、比較的からだの自由がきく人たち四十人が七十点を出品、生まれて初めて筆をとつた人もあり、習字、水彩画、クレパス画、送り物など、日ごろの訓練の成果を披露した。

◇「第一回本渡市生活文化芸術祭」の記念式典が、午前十時半から市民会館大ホールで行なわれた。横山市長、久々山市議会議長、江崎市教育長ら関係者、市民らおよそ三百人が出席、文化活動

で数多くの実績をあげた三団体に市長からの感謝状が贈られた。また先に市教委が募集した「市花」の入選者の表彰式も同時に行なわれ、「はまゆう」と投票、特選に選ばれた塚本醇さん(三四)、熊本市在住の四人に、市からの表彰状と本渡ロータリー・ク(平井三郎会長)からの記念品が手渡された。

引き続き同芸術祭の呼びもののひとつ「日舞邦楽」のつどいが盛大に催された。琴、長唄、常磐津、満元十三幕が次々に披露され、盛んな拍手を浴びていた。表彰団体次の通り。

▽天草本渡ライオンズクラブ(山下一雄理事長)▽杉の子コール(代表者・池田弘さん)▽本渡岳友会(上島十三興会長)